

槍ヶ岳山行

日程：令和2年10月3日（金）～5日（月）
メンバー5名 木村、徳重、曾谷、坂田、小堺
保久良支部 徳重 隆治

令和2年10月2日21時半より車利用(1台)してメンバー5人でJR芦屋駅 22時15分頃から出発した。

高速道路(阪神神戸線、名神、東海北陸)を経て高山市平湯温泉の市営あかんだな駐車場へ10月3日2時半頃到着。(駐車場から上高地バスターミナルまではシャトルバス・タクシーのみしか乗入れ出来ない。)駐車場前には30～40台の駐車待ちあり、混雑する状況を予感した。3時半開門と情報入手したことからスムーズに駐車場に駐車できた。その際、駐車待ちで熟睡する先行車両が数台ありその車を音もたてず、すり抜けてゆく光景が滑稽で可哀想でもあり面白い光景でもあった。



横尾大橋にて・・・いざ槍へ！！

始発の上高地行きシャトルバス(6時20分予定)の乗車待ちの登山客が多いため5時20分に急遽、変更されて仮眠中の仲間となかなか連絡とれず慌ててしまうハプニングがありました。なんとか連絡取れメンバー5人バス乗車に間に

合い安堵しました。

上高地5時50分頃到着し簡単に食事を済ませて、仮眠は少ししかできなかったが、メンバー5人は元気に30分後に登山を始める。

上高地は穂高連峰の登山口であり梓川に掛かるめがね橋等風光明媚な場所であり日本アルプスとしてウォルター・ウエストが世界に広めた地だ。初心者が一番人気の槍ヶ岳山行の定番ルートを選択しました。

神明、徳澤、を経て横尾に9時35分頃到着(3時間の山行)ここまでは、ほぼフラットな地形なので川沿いの気持ちの良い風を感じて前穂高等々見つつ高度順応して行きます。



ここはもう秋～(^.^)・・・いや！初冬です！

9時50分横尾を出発して一ノ俣、12時頃槍沢ロッジ(山荘)に到着。(約5時間山行)一日目の山行は終わり昼食を取りながら明日から山行準備について話し合い早朝で足元暗い山行から下見調査するためにババ平(片道30分、標高1900m)のルート確認を有志3名で行い槍ヶ岳山行準備をした。

槍沢ロッジ(山荘)は、珍しく風呂がある山小屋なので、コロナ禍、4人ずつ入浴(男性)するために時間かかり待つ間、寒い思いもしたが身体をスッキリさせることができた。山小屋の天窓から漆黒の中に浮かぶ月夜の夜空は幻想的に見えた。

翌日の槍ヶ岳登頂は、ここから標高差1300

mを登らなければならないこと、天気予報も午後からは天気が崩れる予報から、メンバー5人と一緒に話し合い早朝3時起床、4時出発予定と変更しました。寝不足もあり早朝出発に備え19時就寝した。



肩の小屋にて・・・眼前の槍！

10月4日早朝、3時50分ヘッドライトを準備して足元注意しながらゆっくりと槍沢ロッチを出発。ババ平、水俣乗越と順調に登り急登の岩場も難無くこなして殺生ヒュッテまで4時間余り掛かった。天気は雲が出て来て槍ヶ岳見えたり隠れたり視界不安定な状況。高度2800mに来ると酸素が薄く感じて槍ヶ岳山荘までの登りはガレ場をジグザグに登りつらく感じた。漸く9時20分頃、槍の肩にある槍ヶ岳山荘に到着。皆一様に3060m登り切った喜びに沸いた。

槍ヶ岳山荘に荷物置きヘルメット着用し空身で山頂（槍の穂先）へのアタックチャンスを持った。（標高差100m約30分標準時間）現状は雲が周期的に山頂を覆い不安定な状態、午後からは天候悪化する予報等から悩んだ結果、山小屋のスタッフの方にも聞いて間もなく山頂岩登

りに出発した。岩登りは三点支持を忠実に守りゆっくりと登り、槍ヶ岳山頂直下には2連で架かる最後になる梯子（高度感を覚える）を上がると9時55分頃槍ヶ岳登頂。



槍山頂！・・・ガスの中の登頂でした！！

私は達成感から何とも言えない気持ちになり、大きな声で「やったー！」と叫ぶ……。後からメンバー4人登頂して来て肩を組み、喜び合いました。槍ヶ岳山頂3180m（日本第5位）は20人ほどで一杯のスペースしかなく360度の展望をほしいままできる所です。



三角点にタッチ！！

今回は濃霧に覆われ視界はなく、絶景はお預けとなりましたがその分、岩場の高度感（怖さ）も少なかったと思います。ただ、10時頃、頂上付近で濃霧の中、一瞬、後光が射す様な現象になり不思議な雰囲気になり、（神仏のご加護か何

かに守られている気持ちになり）祠に（播隆上人に感謝の気持ちで）祈りました。（落雷・稲光だったのかもしれないですが？）山頂から慎重に岩場（梯子、鎖場、）を下りて槍ヶ岳山荘に引き返した。宿泊地の槍ヶ岳山荘では5人揃って無事登頂できた喜びに慕っていた。



槍よさよなら、又来る日まで！！

槍ヶ岳山荘の談話室で出会った常連客から槍ヶ岳のルート情報収集、日頃の鍛錬方法を教えてくださいと大変参考になりました。特筆すべき事は、「**山登りに必要な体力強化はコツコツと近隣の山登りすることが一番大事なことだと思う**」と改めて教えられた。午後からは、天候は崩れ

て小雨模様となり気温も低下してきて翌日の槍ヶ岳山荘から下山の出発時間6時30分に遅らせる事としました。（計画は4時半又は5時の出発予定）

10月5日霧雨が降り風も時より強風の荒れ模様となり、山荘で朝食後に6時30分出発。レインウエア・手袋等をつけて雨対策を十分に準備し、滑らないように足元に注意して槍ヶ岳山荘から下山してゆきます。一気に上高地までの距離（約18km）を8時間（標準時間）でタイトなスケジュールなので精神的にも焦らないよう自分自身に言い聞かせて行動しました。8時過ぎから霧雨も止み紅葉の風景を見ながらスムーズに下山し槍沢ロッジに10時頃到着。横尾12時頃、徳澤13時昼食後14時半上高地バスターミナル到着と計画通り下山した。15時のシャトルバス（臨時便バス）で平湯温泉の市営あかんだな駐車場15時半過ぎ、「ひらゆの森」温泉に入浴して16時30分頃平湯温泉を車で出発した。途中で高速道路SAにて夕食後一路、神戸市に向けて運転して22時過ぎJR芦屋駅前に到着。今回はコロナ禍、少人数の山行計画でしたがメンバー5人の円滑なコミュニケーションが取れた事がスムーズに計画通りできた山行だと思います。これからも事前準備と日頃の鍛錬を継続している事が大切なことだと思います。又、いい思い出が積み重ねて行けるように協力してゆきましょう！メンバーの皆様に感謝申し上げます。